別紙２

事業所名：デイサービス TRY studio

運　営　推　進　会　議　等　開　催　報　告　書

開催日時　令和　８年　８月　26 日（水）13 時 30 分～14 時 00 分	
参　加　者	議　　題
利用者　　０名	１．2026 年８月時点の利用実績報告
利用者家族　　０名	２．人員体制
地域住民の代表者　　２名	３．感染予防、災害対策について
市職員　　１名	４．事故・苦情などの報告
地域包括支援センター職員　　１名	５．ＢＣＰ策定状況の報告
事業所　　１名	６．高齢者虐待対策に関する報告

会　　議　　録

１．2026年８月時点の利用実績報告（添付資料参照）

午前はほぼ満員。午後もほぼ満員の状態で、空きが出てもすぐ埋まる状態。

男女比はほぼ半々というのが事業所の特徴となってきている。

年齢区分も幅広い年齢層からご利用いただいている（54 歳～97 歳）

認定区分としては事業対象者や要支援者が多い。

２．人員体制および活動報告

＜人員体制（登録数）＞

前回報告時と変わりなし。

＜活動報告＞

日々の活動の流れについて写真を用いて説明を行った。

３．感染予防、災害対策について

＜感染予防対策＞

利用者来所時における検温および手指消毒の実施、サービス利用中におけるマスクの着用、随時の換気による、新型コロナウィルスをはじめとした感染予防対策を実施。午前と午後の間に床消毒と換気を実施。

＜災害対策＞

防災訓練の様子について写真を用いて説明した。発見から避難までの時間は約２分１０秒であった。終了後の職員アンケートにて良い点だけでなく、悪い点・改善点などが出たため、次回の開催に向けて改善していく予定。

また次回開催については事前連絡や事前役割等のアナウンスなしで実施していけると良いか。環境面に関しては整理整頓をしっかり行い、避難経路を確保しておけるように留意していく。

４．事故・苦情などの報告
　送迎中の一時停止違反があり、スタッフに対して改めて安全意識を持って従事するように周知。また９月から生活道路が 30km/h 制限となることも念頭に置き運転を行うよう共有した。
　転倒などの事例があり、現象とそれに対する対策について報告した。
５．認知症者への対応
　事業所開所して４年が経過した。利用者の心身に少しずつ変化が生じており、その最たる例として認知症および認知機能の低下が挙げられた。事例を供覧し、今後の当事業所の課題について共有した。
６．高齢者虐待対策に関する報告
　現時点において当事業所で関連する報告はないが、今後も発生しないように研修等を通して、周知徹底を図っていく。

＜質疑＞
疑）現在空き枠はありますか？
回）現状空き枠はないですが、利用者様の状況により変動するため随時お問い合わせいただければ。体験は随時受け入れていますので、雰囲気を感じ取ることはできるかと思います。

次回開催予定：令和９年３月頃。